

平成28年度 定例会議 アンケート年間集計

参加者数	回収数	回収率	※事務局・バイザー人数を除いて
136	113	83%	

1) 所属機関・施設の種別

- ①相談支援事業所 ②地域活動支援センター ③障害福祉サービス事業所 ④行政機関
 ⑤就労移行支援事業所 ⑥就労継続支援B型事業所 ⑦障害児関係 ⑧教育機関
 ⑨居宅介護支援事業所 ⑩複合施設 ⑪医療関係(訪問看護・コメディカル等) ⑫その他

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
1)	20	14	22	2	14	19	16	2	5	10	11	2
	15%	10%	16%	1%	10%	14%	12%	1%	4%	7%	8%	1%
合計	137	その他 実習生・社協										
	100%											

2) 対象者の種別

- ①身体障害者 ②知的障害者 ③精神障害者 ④障害児 ⑤その他

	①	②	③	④	⑤	合計	その他
2)	28	47	52	23	7	157	すべて・地域住民
	18%	30%	33%	15%	4%	100%	

3) 職種

- ①精神保健福祉士 ②社会福祉士 ③介護福祉士 ④保健師 ⑤看護師 ⑥作業療法士
 ⑦臨床心理士 ⑧介護支援専門員 ⑨その他

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	合計
3)	28	21	18	1	5	2	5	13	32	125
	22%	17%	14%	1%	4%	2%	4%	10%	26%	100%
その他 支援員・指導員・管理者・学生・保育士・臨床発達心理士・MR福祉士・ASD支援士・社会福祉主事・事務職										

4) 経験年数

- ①1年未満 ②1年以上3年未満 ③3年以上5年未満 ④5年以上10年未満
 ⑤10年以上15年未満 ⑥15年以上

	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
4)	6	14	11	26	14	35	106
	6%	13%	10%	25%	13%	33%	100%

5) 全体の感想についてお聴かせください。

現在自身が抱えている課題と他事業所の課題が同じで共感できる部分が多かったです。
初めての相談支援専門部会の定例会議を傍聴させて頂きました。文京区の福祉について、様々な事業所が考え、行動している姿を調べることができました。そして事業所間のつながりを感じました。これからもこのつながりを深めていくことが大切だと思います。
相談支援事業に本当に求められている役割には、各年齢(乳幼児～成人まで)ステージにより違うと思います。「各ステージごとのコーディネート」「長い人生における長期的なコーディネート」の2つの視点でのコーディネート機能を考えていく必要があると思いました。相談支援事業自体、一つの法律の決まりの中で、何とかなるものではないです。
質と量の担保は、どこでも共通する悩みだと再認識しました。”セルフケア”しながら支援者同志もサポートしあえたらと思います。
まだ経験不足ですので、難しく実感がわからない話もありましたが、今後に向けて参考にし、考えていかなければいけないことも学びました。
様々な分野の実態や課題を知ることができました。貴重な機会をありがとうございました。
貴重な機会をありがとうございました。相談支援というものを理解するのにとても良い機会となりました。次回また参加したいと思います。
今の現場必要なことや問題などを知ることができてよかった。
課題が整理された。具体的な解決策を話し合える場を作れたら…
パネリストの皆さまのパワポのまとめも発表もとても大切なポイントが集約されていて、それは日々真剣に誠実に利用者の方々に接されているからこそと、学ぶことが多く、励まされました。
いろんな事業所の話を聴くことができて良かった。せっかくなので同じ放デイの職員の話せる機会があると良い。
コンパクトにまとまってわかりやすかったです。どうもありがとうございました。
それぞれの現場での課題が理解でき、共通することも多いことがわかりました。
他事業所の方々の意見を伺うことが出来、大変貴重な経験となりました。ありがとうございました。
それぞれの課題をこうした型でディスカッションできることは有意義と思いました。
それぞれの分野・立場の方から発表で様々な視点の切り口で課題について考えることが出来た。
問題が大きくなりました。
計画相談のセルフプランは実質通所事業所の職員に負担が大きく掛かっています。本人達だけで立てられるわけではありません。計画相談を担ってなくとも、その役割を無料かつ相当な労力でやりとげています。ここを理解して頂きたいです。
障害に関わる皆さんの苦労を努力を感じました。ただ一点、地域という視点がもう少し意識の中に必要かと思いました。
他障害・他領域での活動、課題など知ることができ大変良かった。
相談支援の待遇面、事業所の質に言及して頂いた点は良かったと思います。お忙しい中、準備お疲れさまでした。

知らない施設について知ることが出来、有意義でした。志村先生のSVがとても勉強になりました。自分自身のセルフケアをきちんとし、支援する時とのメリハリをつけたいと思いました。ありがとうございました。

色々な考えが聞けてよかった。受けもっているケースについても色々な人の意見を聞いてみたいと思った。

皆様が積極的にご意見を下さり本当に感謝と勉強になりました。

グループワークで色々な意見を聞くことができ良かった。

困難な事例を的確にグループワークでまとめることができました。

皆で話し合える形式が良い。

グループ討議でも全体の発表でも様々な意見や考えが聞けて良かったです。

成人の方のケースを聴くことがあまりなかったのが、良い勉強になりました。

グループワークをする際に5名ぐらいだと意見が出しやすいかと思えます。

議論の方向性として、事例のパーソナルな部分(パーソナリティ、生育歴など)と環境因(リソース)の問題が混ぜこぜになっていてわかりにくい部分があった。事例自体は興味深かった。

グループワークで意見交換ができて良かった。

各部・施設の専門職が集まっていたので、様々な意見が聞けて良かった。

KJ法を用いて色々な意見が聞けて良かった。

経験年数が少ないので勉強になった。

自立支援協議会へ挙げていく課題を整理していけるといいと思いました。

・グループの皆さんが一言ずつでも発言できて、参加型で良かったと思います。・スーパーバイザーの先生のお話はコンパクトにまとまっていて、さらに現場の我々を励ましていただく内容で嬉しいです。

重複利用者の支援について議論を深められた。

様々な関係者と意見交換ができた。意見やコメントを聞く良い機会となった。

全体的に時間短いい中で色々な意見交換をすることが出来て良かったです。勉強になりました。

学生であるにも関わらず参加させていただき感謝しております。

話し合う内容を限定していたので話し易い反面、大事な話が欠けている面もあり、いい点悪い点あったと思います。

参加型であつという間に感じました。準備などありがとうございました。

ケースについて皆で一緒に考えられて良かった。(グループワークを通して)アセスメントの重要性を再認識した。

施設によって考え方の違い(かなり大きい)についてあることを知る。

普段勤務している業務と違う内容だったのでとても参考になりました。

支援者としての視点やプロセス等改めて考えられた。様々な制度を、より知る必要があることを実感した。

非常に興味のあるテーマだと思いました。医療・福祉・地域・家族・本人を含めて周りの考えていかなければならないことが課題となりました。

勉強不足で非常に難しかったです。勉強になりました。

雰囲気も良く勉強になりました。ありがとうございました。

視点など知る機会であった。

難しいところがあったが勉強になった。

難しかったけど、貴重な体験ができました。

アセスメントの大切を改めて実感しました。

他職種、他事業の方のご意見を伺うことができ、とても勉強になりました。

アセスメントの大切さを痛感しました。

ちがう考え方の人と話しが出来、参考になりました。

いろいろな機関、施設の方々と話す機会はとても貴重でした。ありがとうございました。

先生の総括で気づくことができました。2・3・4の部分が私たちも大事、すぐにつなげない、立ち止まって考える。

全員がマイクで質問する時間があって、より一体感があつた。

高山先生のお話しにもあつた「快の行動を共にしてくれる人」が地域が増えてほしいと思いました。同じ趣味を持つ年代を超えた友人がいると、GHや通所、通院している方々の生活がより豊かになるのではないかな…と思いました。

普段支援をしている方たち以外の方から、思ってもみないようなアイデアが出てくることは結構あるのだと感じました。そういった場合、こういった手法は有効だと思いました。

他障害支援を学ぶことの出来る機会なので有り難いです。

個別ケースではありましたが、グループで検討することで、新たな視点や意見が出ることを感じました。

高山先生の俯瞰した視点でのSVは、とても励まされ学びます。

皆が均等に発言できたと思う。参加した感があつた。

現在ある社会資源の中で考えるのも大切だが、新たなサービスを考える、ということも大切だと感じました。

ミクロの視点からメゾ、マクロに拡大していく考えが大事だと学びました。

高山先生のお話しはいつもびっくりします。自分の視野を広げて下さっているという感じですが。

支援の中で、常に本人の立場に立って考察出来ているか、改めて気づかされた。定例会議の位置づけが、相談支援専門部会での意味合いが大きいことを実感する。

事例を数回行っていくなかで、アセスメントの細かいポイント等深く学ぶことが出来ました。

普段接しているケースだったので、使える制度等勉強になりました。

6)来年度の定例会議に向けて、ご希望がございましたらご記入ください。

上記についてテーマにして頂くことも良いのではないのでしょうか。

計画相談が入ったことで、切れ目のない支援実現するためのポイントなど聞いてみたいですが(療育・教育・福祉など…)。

こうした形式を続けられると良いと思いました。

参加型のセッションは、とても勉強になります。

現場に持ち帰れる資料(情報)などがあると、共有しやすいです。

同じような事例のGSVを複数行ってほしい。

事例以外の会議参加についても検討していく必要があるそうだと思う。